

連携室たより

第 61 号

平成 26 年 2 月 1 日
出雲市姫原 4 丁目 1 番地 1
島根県立中央病院 地域医療連携室
医療連携・医療相談科

TEL 0853-30-6500

FAX 0853-30-6508



総合周産期母子医療センターの紹介

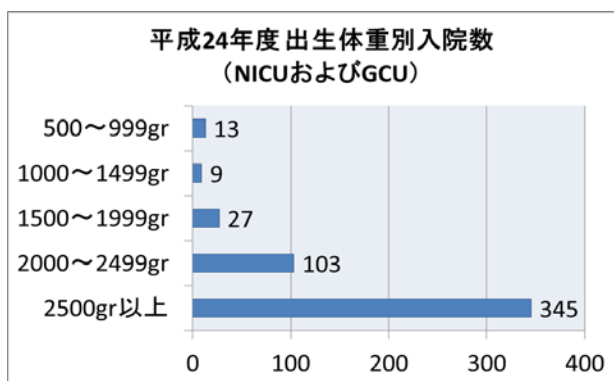
母性小児診療部長 森山政司



当院には島根県唯一の総合周産期母子医療センターが設置されています。これは、従来別々に運営していた産婦人科の産科部門と小児科の新生児部門を一体化し、高度な医療を安全に効率よく提供し母児の周産期管理を行うことを目的として設置されています。

母体胎児集中治療室（MFICU）3床、新生児治療室（NICU）が6床あり、産科医・新生児科医それぞれが毎日当直しており、さらに一人ずつオンコールで応援ができる体制となっています。ほかに後方病室として母性病棟41床、新生児治療回復室（GCU）18床があり、看護師・助産師総勢72名が勤務しています。

MFICU では重症妊娠高血圧症候群・前置胎盤・多胎妊娠・切迫早産等の管理を行い、臨床心理士によるメンタルケアも行っています。NICU では早産時、特に県内の他施設では管理困難な28週未満の早産時の管理・1000gr未満の超低出生体重児の管理を行っています。当院への搬送にはドクターカーやドクターヘリも利用し、24時間いつでもハイリスク妊産婦・早産児・低出生体重児の搬送を受け入れる体制となっています。このように当センタースタッフは島根県の周産期医療を支えるべく日夜励んでいます。



(名)

平成24年度 分娩数(妊娠22週以降)

分娩数	1059件
早産数	92件
死産数	5件
双胎	19件
帝王切開	317件
吸引分娩	88件
母体搬送	49件
ヘリ搬送	5件

認定看護師の紹介コーナー



緩和ケア認定看護師

看護師 小松 歩美



私は、緩和ケア認定看護師として外来病棟を横断的に専従で活動をしています。

緩和ケアとは、生命を脅かす疾患について早期からからだやこころの苦痛を和らげ、患者さんがその人らしく生きていくことができるようにケアをしていくことです。様々な苦痛を和らげるように対処や予防をしていくことは、病気の治療と同じように大切です。

病院として、緩和ケアチームを中心に緩和ケアに取り組んでおり、主に「がん緩和ケア」の相談に対応しています。がんによるからだの痛み、呼吸困難、全身倦怠感等の身体的な苦痛や気持ちのつらさ、今まで行ってきた仕事や家庭での役割が思うようにできにくくなるというような様々な苦痛に対応します。また、患者さん同様にご家族にも身体面や精神面などの様々な苦痛が出現します。そのため、緩和ケアチームの医師、がん領域認定看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、理学療法士、MSW等多職種が、患者さんの思いを聴きながら、苦痛症状への対処方法を考えていきます。そして、患者さんのそばにいる看護師と連携をとりながらどのような看護ケアが必要か検討します。その中で、患者さんが今までどのような生活、人生を送ってこられたのか、大切にされていたことは何か、これからどこでどのような生活を送っていきたいのか等、患者さんの考えや思いを聴きながら、生活の質が良くなるよう、寄り添いながら一緒に考えさせていただくことを大切にしています。

今年度はがん看護の質の向上を目的として、院内看護職員向け「がん看護研修」の対象者を二次医療圏看護職に広げ、多数の方に参加していただいています。地域医療を支える看護職との連携の促進、がん看護の質の向上の一助になるよう研修を継続していきたいと考えています。

今後は一層在宅医療がすすみます。地域を支える医療スタッフとの連携をとりながら患者さんの生活やその人らしさを大切にした看護ケアを行っていきたいと思います。



緩和ケアチームカンファレンスの様子



患者会活動紹介

島根県立中央病院 医療連携・医療相談科では、糖尿病友の会、出雲 KA 友の会（ストマ造設者）、せきそんのつどい（脊髄損傷者）の3つの患者会の事務局を担当させていただいています。

今回は、“糖尿病友の会”“出雲 KA 友の会”の活動について紹介します。

◆◆◆◆◆ 糖尿病友の会 ◆◆◆◆◆

平成 25 年 10 月 25 日、出雲市交流施設：サンピーノの調理室をお借りし、調理教室を開催しました。調理教室は、ここ数年毎年 1 回実施しています。

当院の管理栄養士の指導のもと、素材から量を考え、調理をしながら食事療法の勉強をしました。今回、管理栄養士が作成した季節の献立は表のとおりですが、さんまは頭と尾を落とし、ワタを除いて水洗いして切り、ショウガおろしを入れたお出しの中に入れ、冷蔵庫に 1 時間くらい置くことでくさみが取れ、薄味でも美味しくいただけます。人参とキャベツの酢の物も、酸味を活かし食が進み、野菜をたっぷり摂ることもできました。調理のあとは、出来立ての食事の試食をし、平素の食事療法など語りながら和やかに過ごしました。

メニュー



- 栗ごはん
- さんまごぼうのしょうが煮
- 人参とキャベツの酢の物
- 果物（梨）



◆◆◆◆◆ 出雲 KA 友の会 ◆◆◆◆◆

出雲 KA 友の会は、人工肛門・人工膀胱を持つ方の会です。

私たち友の会では、障害を持ちながらよりよい社会生活を送るため、毎年秋に「社会適応訓練事業」として勉強会や会員の交流会を開催しています。

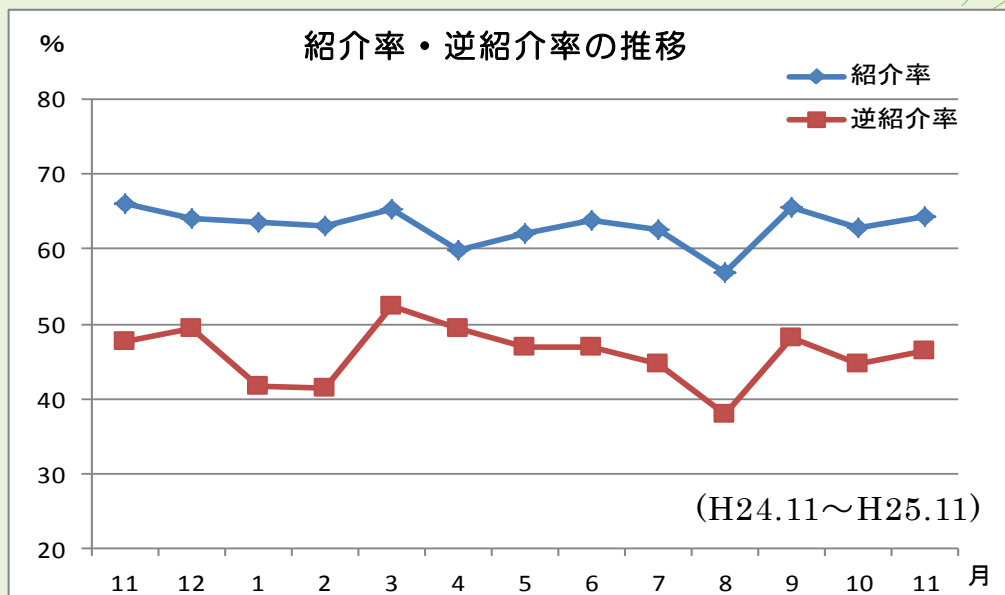
今年度は当会と同様に県立中央病院に事務局がある「糖尿病友の会」との合同レクリエーションを企画し、総勢 20 名で三次市にある君田温泉に出かけ、名物「ワニ料理」をいただきました。

色づき始めた紅葉を眺めながら、温泉や併設の美術館での美術鑑賞で癒され、出雲K A友の会の会員同士の近況報告や情報交換はもちろん、糖尿病友の会会員との交流もでき、賑やかに楽しい時間を過ごすことができました。



地域医療連携の状況

日頃は患者様のご紹介をいただきありがとうございます。
紹介率・逆紹介率を上げて、地域との連携を深めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



紹介件数、ネット・FAX 利用状況				
	紹介件数	ネット・FAX 利用状況 (内数)		
		まめネット	FAX 予約	
			診療	検査
平成 25 年 10 月	1,505	227	283	93
11 月	1,326	157	255	67
12 月	1,260	129	213	76